

## ◆担い手育成事業

# 八重山漁協女性部活動支援

八重山農林水産振興センター 牧野清人

### 1. 目的

八重山漁協女性部は殆どの部員がさしみ屋やかまぼこ屋などを経営しており、その経営のかたわらで魚食普及や小中学生の調理体験学習を行っている。これまでに引き続き、本年度も八重山地区の普及指導員として、子供たちに地域の水産業について学習していただくこと、また、地元水産物の地産地消促進の一助とすることを目的とし、女性部活動の支援を行った。

### 2. 材料及び方法

八重山漁協女性部は、年間を通して各種イベントへの参加ならびに小中学生を対象とした調理体験学習並びに魚食普及を行っており、こうした行事の事前調整ならびに行事への参加、手伝いなどの支援を行った。

### 3. 結果及び考察

1) 平成22年7月10日に女性部定期総会が開催された。21年度実績、決算報告、22年度計画、予算計画案で、すべて承認された。

2) 平成23年1月30日に、魚食普及体験教室を行った。体験教室開始に先立ち、女性部でマグロのアラを出汁にアーサ汁作りを開始した。体験教室は午前10:00より漁協セリ場において行われた。参加者は八島小学校3年生約50名、父兄、教員あわせて約120名であった。当日水揚げされたマグロを使って、女性部メンバー2名によるマグロ解体ショーが行われた。大人、子供とも非常に熱心に見入っており、注目を集めていた。その後、解体したマグロから取ったサクを使って、子供たちに握りずしを握らせた。対象が低学年ということもあり、包丁を握らせる作業は行わなかったが、生徒、父兄、教員と

も非常に充実した体験学習となったとのことであった。

3) 平成23年3月20日に漁協青年部主催のお魚市が開催され、女性部もこれに参加し、地元水産物を使った天ぷら、から揚げの販売を行った。



女性部定期総会



体験学習での子供たちによる握りずしづくり



お魚市での天ぷらづくりの様子